

---

## 平成23年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成23年3月7日

質問者（質問順）

- 1 大貫憲夫委員（共産党）
- 2 飯沢清人委員（ヨコ会）
- 3 黒川勝委員（自民党）
- 4 井上大右委員（民主党）
- 5 和田卓生委員（公明党）
- 6 串田久子委員（無所ク）
- 7 藤田みちる委員（ネット）
- 8 菅野義矩委員（民主ク）

港 湾 局

# 局 別 審 査

## 1 大 貫 憲 夫 委 員 ( 共 産 党 )

### 1 将来計画の策定について

- (1) 京浜港の将来計画の策定目的と計画内容について伺いたい。
- (2) 計画の中に、貨物量及び交通量の推計、環境現況の調査、施設の検討とあるが、具体的にどうやって数字をとっているのか。
- (3) 国際コンテナ戦略港湾を実現するためには、10年15年では短く、その先まで見込んだ長期的なスパンでの将来計画を検討すべきではないか。

### 2 国際コンテナ戦略港湾について

- (1) 現況についての基礎調査をしていない、基礎的データがない状況で、国際コンテナ戦略港湾に選定されたということか。
- (2) 基礎調査に基づく将来予測や戦略を検討してから、国際コンテナ戦略港湾としての取組を行うべきではないか。
- (3) 重点港湾からスーパー中枢港湾、そして今回の国際コンテナ戦略港湾と、国の政策に振り回されているのではないか。
- (4) 改正港湾法は、成立すると思うか。
- (5) 国土交通省が実施した「平成20年度全国輸出入コンテナ貨物流動調査」の結果について伺いたい。
- (6) 輸出入ともにシェアがアジア圏に流れている中で、国際コンテナ戦略港湾は北米航路に傾斜した計画になっているのではないか。
- (7) アジア諸国に対して、大型コンテナ船の対応は必要か。

## 2 飯 沢 清 人 委 員 (ヨコ会)

### 1 帆船日本丸の保存について

- (1) 現在の船の状態について伺いたい。
  - (2) 今後の整備の考え方について伺いたい。
  - (3) 帆船日本丸に思いのある方を掘り起こしたり、新たな支持者を得ていくための方策について伺いたい。
  - (4) 市民の理解を得るために、どのように取り組むのか。
- (要望) 帆船日本丸の積極的なPRや有効活用に、全市をあげてより一層取り組むよう要望します。

3 黒川 勝 委員（自民党）

1 平成23年度港湾局予算編成の考え方について

- (1) 予算編成にあたり、重点を置いた取組は何か。
- (2) 経費縮減のために行った事業見直しの取組は何か。
- (3) 予算（案）に計上している重点事業の推進に向けた決意を局長に伺いたい。

2 横浜港の港勢について

- (1) 平成22年の貨物、コンテナの取扱量は、どうなっているのか。
- (2) 国内主要港における平成22年のコンテナ取扱個数は、どうなっているのか。
- (3) 平成22年におけるコンテナ取扱貨物の回復の程度について伺いたい。

3 国際コンテナ戦略港湾に向けた先進的な施設整備について

- (1) 南本牧ふ頭MC-3ターミナルの整備状況はどうなっているのか。
- (2) 本牧ふ頭再編整備のねらいは何か。また、今後はどのように進めていくのか。
- (3) 大黒ふ頭再整備の基本的な考え方について伺いたい。

4 横浜港埠頭公社の民営化の推進について

- (1) 横浜港埠頭公社を民営化することにより、どのようなメリットがあるのか。
- (2) 他港の民営化の状況について伺いたい。
- (3) 東京港埠頭株式会社の財政基盤強化の取組はどのようなものか。
- (4) 横浜港埠頭公社の株式会社化にあたり、どのような財政基盤強化に取り組むのか。
- (5) 東京港との経営統合にあたり、横浜港がイニシアチブを握って進めていく意気込みを副市長に伺いたい。

5 水際の市民利用について

- (1) 海づり施設について

ア 大黒、本牧、磯子にある各海づり施設の利用状況について伺いたい。

イ 海づり施設の管理運営に関して、何か課題はあるのか。

ウ 今後どのような取組が予定されているのか。

(要望) より多くの市民が楽しめる海づり施設にすること、今後の状況をみて、金沢区に新たな釣り施設を整備することを要望します。

(2) 海洋性レクリエーションの普及について

ア 横浜ベイサイドマリーナの過去3年間の利用状況及び経営状況について伺いたい。

イ 横浜ベイサイドマリーナが順調に経営を続けられた要因は何か。

ウ 横浜ベイサイドマリーナでは、海洋性レクリエーション普及促進のためにどのような取組をしているのか。また、参加状況はどうなっているのか。

(3) 水辺空間の活性化について

ア 水辺空間の活性化に向けて、これまでどのような取組を行ってきたのか。

イ 横浜港の内港地区が目指す姿とは、どのようなものか。

ウ 賑わいのある内港地区を実現するために、今後どのような取組を行っていくのか。

(要望) 23年度は、京浜港として、国際コンテナ戦略港湾の取組が本格的にスタートする年と位置付けることができます。東京に絶対に負けない、横浜がイニシアチブを握って進めていくことを要望します。

4 井上大右委員（民主党）

1 コンテナ貨物の横浜港への集荷促進について

- (1) 横浜港の利用促進に向けて、これまでにどのような取組を行ったのか。
- (2) 利用促進に向けた取組の結果、どのような成果があったか。
- (3) 今回新たな補助制度を創設する理由は何か。
- (4) 新たな補助制度の内容はどのようなものか。
- (5) 制度の周知に向けて、どのように取り組むのか。

2 臨海部の道路整備について

- (1) 本牧出口ランプの供用によって、どのような効果があったのか。
- (2) 南本牧ふ頭連絡臨港道路整備事業の現状と今後の見通しについて伺いたい。
- (3) 近隣住民との調整状況はどうなっているのか。
- (4) ふ頭間を結ぶ臨港道路の整備の考え方について伺いたい。

3 山下ふ頭の現状と今後のあり方について

- (1) 山下ふ頭の現在の利用状況について伺いたい。
- (2) 来年度の検討内容はどのようなものか。
- (3) 今後の取組は、どのように進めていくのか。

4 安全・安心な港の形成について

(1) 耐震強化岸壁の取組状況について

- ア 震災時における耐震強化岸壁の役割は、どのように位置付けているのか。
- イ コンテナ船のための耐震強化岸壁の整備計画と整備状況はどうなっているのか。
- ウ 耐震強化岸壁の整備は、今後どのように進めていくのか。

(2) 港湾施設の維持保全について

- ア これまでにはどのように取り組んできたのか。

イ 具体的な予算の内容について伺いたい。

ウ 効率的な維持保全を進めていくために、今後はどのように取り組んでいくのか。

## 5 環境への取組について

(1) 物流活動に起因する温室効果ガスの排出源は何か。

(2) 停泊中船舶から排出される温室効果ガスの削減には、どのような対策があるのか。

(3) 国内での陸電への取組状況について伺いたい。

(4) 陸電の導入に対する考え方について伺いたい。

(要望) 港における地球温暖化対策の取組として、陸電の導入など有効な取組を進めることを要望します。

## 6 賑わいのあるみなとづくりについて

(1) 施設のネットワーク化について

ア ネットワーク化する目的は何か。

イ ネットワークについて、今年度はどのような取組をしたのか。また、今後はどのような取組を行っていくのか。

(2) 水辺空間の活性化について

ア 22年度に実施した社会実験の取組内容と結果について伺いたい。

イ 需要や課題をどのように分析しているのか。

ウ 来年度の取組内容はどのようなものか。

(要望) 内港域の陸と水辺空間を魅力高い一体の空間として、どのように賑わいを創出していくべきか、検討するよう要望します。

5 和田卓生委員（公明党）

1 京浜港港湾計画の策定について

- (1) 戦略港湾の計画推進にあたり港湾計画を見直す必要性は何か。
- (2) 戦略港湾として、どのような計画を策定していくのか。
- (3) 23年度はどのように取り組むのか。また、策定に向けてどのように進めていくのか。

2 港湾局の物流関係の外郭団体について

- (1) 株式会社横浜港国際流通センターに対して行った4億円の貸付けは、どのような経緯によるものか。
- (2) 株式会社横浜港国際流通センターに対して、今後も追加貸付はあるのか。
- (3) 株式会社横浜港国際流通センターが横浜港にとってどのような役割を果たしていくべきと考えるか。
- (4) 株式会社横浜港国際流通センターの経営状況及び今後の見通しについて伺いたい。
- (5) 外郭団体等経営改革委員会からの提言を受け、株式会社横浜港国際流通センターの今後のあり方をどのように考えているのか。
- (6) 横浜港埠頭公社の民営化の手順、受け皿会社の設立時期と出資額はどうか。
- (7) 新会社は、横浜港の発展において、今後どのような役割を担っていくのか。
- (8) 海外諸港のポートオーソリティにおける国や港湾管理者との役割分担はどのようになっているのか。
- (9) 日本版ポートオーソリティの検討を進めるにあたって、どのような視点が重要と考えているのか。

3 コンテナターミナルにおける温暖化対策について

- (1) 荷役機械の温室効果ガス排出は、どのような状況か。



- (2) 荷役機械の排出削減対策には、どのようなものがあるのか。
- (3) 横浜港のターミナル内での温室効果ガスの排出削減に向けた取組状況は、どうなっているのか。
- (4) 海外の主要港での先進的な取組や海運会社の動向はどうなっているのか。
- (5) 環境にやさしいターミナルづくりに向けた本市の基本的な考え方について伺いたい。

#### 4 大さん橋の経営について

- (1) これまでの利用料金収入、指定管理料及び営業利益の実績はどうなっているのか。
- (2) 指定管理者制度には、指定管理者のモチベーションを維持・向上させるとともに、適正な公的負担を図るための機能が必要だと思うが、どのように考えるか。
- (3) ウッドデッキのトゲ被害の状況と対策はどうなっているのか。
- (4) 第2期の指定管理者選定で、市として期待したことは何か。
- (5) 集客を図るため、どのようなことに新しく取り組んでいくのか。

#### 5 赤レンガ倉庫について

- (1) 1号館、2号館の運営形態について伺いたい。
- (2) 150周年記念事業が行われた平成21年度前後での入場者数、イベント数の推移はどうなっているのか。
- (3) 市には、どのような収益があがっているのか。
- (4) 多くの方が訪れる集客施設として、耐震策はどのようになっているのか。
- (5) 23年度に企画されているイベント数の見込みと特徴について伺いたい。

6 串田久子委員（無所ク）

1 市民に身近な魅力ある港づくりについて

- (1) 横浜みなと博物館は、どのくらいの人が利用しているのか。また、リニューアル前と比べてどうか。
- (2) 横浜みなと博物館の特色やセールスポイントは何か。
- (3) 横浜みなと博物館の役割をどう考えているのか。
- (4) より多くの方に、横浜の海や港に関心を持ってもらうために、どのような取組を行っているのか。

2 新港地区の街づくりについて

- (1) 景観に配慮した新港地区の街づくりの方針とは、どのようなものなのか。
- (2) 良好な景観形成を実現させるために、これまでどのような取組をしてきたのか。
- (3) 「街並み景観ガイドライン」の内容と運用による効果について伺いたい。
- (4) 景観に配慮した新港地区の街づくりを実現するために、どのような工夫や努力をしているのか。
- (5) 企業誘致活動に取り組んだことにより、具体的にどのような効果があったか。

7 藤田みちる 委員（ネット）

1 横浜港の港勢、港湾統計について

- (1) 公共ふ頭、民間ふ頭での取扱貨物の比率について伺いたい。
  - (2) 平成22年における主要品種の輸出入の状況は、どのようになっているのか。
  - (3) 平成22年における輸出入の主要相手国の状況は、どのようになっているのか。
  - (4) 横浜港における統計情報は、どのように活用しているのか。
- (要望) 港湾統計は、横浜港の歴史や経済を学ぶために大変よい教材になると思いますので、学校や子供たちへも提供するように要望します。

2 クルーズ振興策について

- (1) 日本及びアジアにおけるクルーズの現状はどのようになっているのか。
- (2) 市民がクルーズに触れる機会をどのように創出していくのか。
- (3) 横浜のクルーズ振興の可能性について、どのように認識しているのか。

3 新型インフルエンザ対策について

- (1) 港湾局の水際対策の概要について伺いたい。
- (2) 市の関係部局や関係機関との連携は、どのようになっているのか。
- (3) 昨年7月には港湾局の対応訓練を行ったと聞いているが、訓練の結果を今後どのように活かすのか。

## 8 菅野義矩委員（民主ク）

### 1 地震対策について

- (1) 緊急物資輸送拠点としての耐震強化岸壁の整備計画と整備状況について伺いたい。
- (2) 上屋の耐震化の状況は、どうなっているのか。
- (3) 耐震強化岸壁背後のアクセス道路の機能確保は、どのように行われるのか。
- (4) 発災時の具体的な対応は、どのように行われるのか。

### 2 港湾施設の保安対策について

- (1) 港湾施設の保安対策に関する課題はあるか。また、今後、対策の見直しは行わないのか。
- (2) 国の基準の改正内容はどのようなものか。また、今後のスケジュールはどうなっているのか。
- (3) ソーラス制限区域への出入国について、国が実施する横浜港での実証実験の内容はどのようなものか。